

II 一般質問 発言の要旨

高齢者外出支援について

村田 俊太郎 議員

問 コミュニティバスの路線拡充をされるのか、また今後の外出支援として、どのような施策が考えられるのかお聞きします。

答 コミュニティバスの路線拡充は、現状では難しい状況であります。またタクシーなど高齢者向け割引や助成はありませんが、先行事例や事業に要する費用など検証し高齢者の外出支援を考えます。また公共交通を補完するボランティア団体の活動や地域の助け合いの中で、高齢者のための移動手段を確保していくことも、今後重要性を増すものと考えております。現在、買物支援を行う社会福祉法人もあり、地域福祉の取組みの中で多様な展開がなされるよう取り組んでまいります。

児童虐待について

堀川 力 議員

問 千葉県野田市の児童虐待事件を受け、問題視されたのが、小4女兒の書いたアンケートが加害者である父親に開示されたことである。本市として情報の保護といった観点からどのような対策を講じているのか。また、虐待防止の為、親に対してどのようなケアを行っているのか。

答 児童虐待に関する情報や学校でのアンケート内容については個人情報であり、市の基本指針や法律に基づきプライバシーの保護や守秘義務が課せられており、遵守を徹底しています。親に対するケアとしては、妊娠期から出産後の子育て期に至るまで、不安や悩みを解消し、虐待のない健全な子育てができるよう、児童の年齢に応じた様々な支援を展開しています。

学童保育と保育園幼稚園について

大垣 良夫 議員

問 昭和学童保育所についてどう考えているか。昭和保育園の運営が大和郡山市社会福祉協議会から社会福祉法人郡山双葉会へ移行するが、認定こども園にするメリットは何か。

答 昭和保育園を平成37年4月に昭和幼稚園と統合し認定こども園とする考えがあり、昭和幼稚園跡を改修し学童保育所として活用できるように関係機関等と協議します。メリットとして、父母が働いていなくても利用出来ること、0才から5才の年齢の異なる子どもたちがふれあい、一緒に育っていくこと、「子育て相談」「親子の集いの広場」を保護者に提供することで子育てを家庭を支援し、地域の活性化につながる等があげられます。

ゴミ収集について

吉川 幸喜 議員

問 本市ではゴミの処理にどれだけの経費がかかっているのか。県内の市町村の家庭ゴミ有料化の状況は。ゴミ有料化のメリット・デメリットは何か。市民に負担を求めだけでなく、行政努力でゴミ処理経費を削減することも必要である。家庭ゴミを有料化する考えはあるのか。

答 平成29年度においては、ゴミの処理に約11億円を要しています。県内12市のうち7市が有料化しています。家庭ゴミ有料化のメリットはゴミ削減・費用負担の公平性が図れること。デメリットは市民の経済的負担や、不法投棄等が予想されます。財政状況や経済情勢等を踏まえて有料化の実施を判断していきませんが、現時点では処理経費の削減に努め、有料化は考えていません。

国道24号線沿道の活性化について

乾 充徳 議員

問 国道24号線上に計画されている京奈和自動車道は高架道路であり、完成後は交通需要が変化し、国道24号線の交通量が減少となれば、沿道の活性化にも影響を及ぼすのではないかと懸念しております。大和北道路の概要と合わせて沿道活性化の見解をお聞きしたい。

答 先日、大和北道路の起工式があり、平成30年度より国とNEXCO西日本の合併施工方式により事業が進んで参ります。計画では6.3キロの事業区間において、新たに設置される3つのインターチェンジが本市の活性化の起点となり、また奈良県の規制緩和施策の概ね1キロを半径としたエリアが新たに対象となることで、奈良県の活性化の推進にも繋がるものと期待しています。

公有財産の売却問題について

丸谷 利一 議員

問 公有財産の売却は、公売によってできるだけ高い価格で売却するのが原則である。JR郡山駅東側グラウンドサンピア底地の市有地売却は昨年の12月議会でも提案されたが、なぜ取り下げられたのか。まちづくりや福祉の観点など、公共の福祉目的に売却する場合でも、市民への説明責任として、売却の過程を明らかにするのは当然である。市は、賃借料・固定資産税の滞納の回収や、市の玄関口の土地を放置できないなどと説明しているが、半額に減額する理由にはならない。今回のような不可解な、疑惑の広がるような市有地の売却はしてはならないと指摘する。

答 昨年12月の第4回市議会定例会での取り下げについては、契約内容に齟齬が生じたためのものです。